

2 議題

(2) 令和 5 年度事業実施報告及び 令和 6 年度事業計画について

ア 令和5年度事業実施報告について

ア 令和5年度事業実施報告について

(ア) 令和5年度心臓リハビリテーション推進事業

【事業概要】

地域医療や人材育成の中心的な役割を担う
「心臓リハビリテーション強化指定病院」の人件費を補助する

対象経費：強化指定病院事業の実施に必要な経費（人件費）
交付対象者：市町村

【結果】

- ・ 令和6年度実施に向けて川崎市と調整

ア 令和5年度事業実施報告について

(イ) 令和5年度心臓リハビリテーション設備整備事業

【事業概要】

心臓リハビリテーションの実施医療機関を増やすため、医療機関に対して
機器整備費の経費を補助する

交付対象者：県内に所在する病院等の開設者

補助対象：施設基準上求められている運動負荷装置及び運動負荷装置試験装置
上記の導入に係る設置費、運搬費（保守及び補償に係る費用は対象外）
単なる機器の買い替えは対象外

補助率：1/2 1医療機関当たり450万（上限）

【結果】

- ・ 9/25～11/10公募実施（20か所）
同時に、令和6年度事業希望調査実施（3か所）
- ・ 選定基準に沿って、8医療機関を選定（新規4か所、増設4か所）
令和6年度でも希望4か所あり、令和6年度事業で実施予定

ア 令和5年度事業実施報告について

○ リーフレット作成等

・「**かながわ治療と仕事の両立支援推進企業認定事業**」チラシ 12,000部作成

治療と仕事の両立支援を推進する企業や事業所を認定するため、これまでがンのみであったものに、循環器病を追加

神奈川産業保健総合支援センター等へ 配布

かながわ治療と仕事の両立推進企業

がんや循環器病等の治療と仕事の両立に資する休暇制度や勤務制度を整備している企業を、神奈川県が認定します!

認定基準 (1)~(3)いずれかの項目を満たしていること

申請方法

問合せ先：がん・疾病対策課 TEL 045-210-5015 (直通)

個別訪問支援 個別調整支援 窓口での相談対応 事業者啓発セミナー

※支援はすべて無料!

ア 令和5年度事業実施報告について

○ ライトアップ

- ・ R 5年8月10日（木）

健康ハートの日に県庁本庁舎
をレッドにライトアップ

- ・ R 5年10月29日（日）

世界脳卒中デーに県庁本庁舎
をブルーにライトアップ



ア 令和5年度事業実施報告について

○ 産業保健と連携した講演会

・ 神奈川産保の労働衛生週間セミナー

日時：R5年10月5日（木）15:00～16:00

場所：独立行政法人労働者健康安全機構
神奈川産業保健総合支援センター
オンライン（ハイブリッド形式）

演題：「知っておきたい脳卒中から身を守る方法」

講師：聖マリアンナ医科大学特任教授
新百合ヶ丘総合病院脳卒中センター長
長谷川 泰弘 氏

共催：独立行政法人労働者健康安全機構
神奈川産業保健総合支援センター

【結果】 52名参加

神奈川産保の 全国労働衛生週間スローガン
目指そうよ二刀流 こころとからだの健康勉強場

労働衛生週間 特別セミナー

メディアに出演の大学教授や医師等が産保ラジオに登壇!

参加申込期間
2023年9月1日午前10時から順次受付開始
参加方法は、会場参加とWeb参加があります。
※会場参加の場合、開場から開演前15分までには参加券の受付が終了です。
定員：会場参加者30名 Web参加者500名
セミナー開催会場：神奈川産業保健総合支援センター研修室

9/13 15時開始 受付9/1～
ストレス研究の最先端
些細なマイクロストレスで大きな病気を引き起こす!?
聖マリアンナ医科大学工学部教授 満倉 晴恵 氏

9/20 15時開始 受付9/1～
頭痛はなぜ起こるのか
～生活習慣から考える、その対応と予防法について～
頭痛治療の第一人者 埼玉医科大学センター長 坂井 文彦 氏
埼玉医科大学センター 脳神経科医 田中 夏美 氏

9/29 15時開始 受付9/12～
**寝だめが心を壊す！
危険な社会的ジェットラグ！**
福岡県福祉大学教授 中田 光紀 氏

10/5 15時開始 受付9/12～
共催：神奈川産業保健総合支援センター・労務対策課
**「知っておきたい
脳卒中から身を守る方法」**
聖マリアンナ医科大学特任教授
新百合ヶ丘総合病院脳卒中センター長 長谷川 泰弘 氏

主催： 神奈川産業保健総合支援センター

ア 令和5年度事業実施報告について

○ オンラインセミナー

開催日循環器	主な対象 (出席者数)	講演内容	講師	会場
令和6年3月8日 (金) 18:30~20:00	医療従事者 在宅医療・介護従 事者 (50人)	循環器領域における低侵襲治療 と地域連携	川崎幸病院川崎心臓病 センター 桃原 哲也 氏	Web開催 (Zoom)
		循環器領域における低侵襲治療 と患者ケア		
令和6年3月10 日(日) 14:00~16:00	県民(130人)	脳卒中の症状と治療を知ろう	横浜市立脳卒中・神経 脊椎センター 齋藤 麻美 氏	横浜商工会議 所9階シンポ ジア
		心疾患の診断と治療 ～早期診断が重要！	小磯診療所 町田 大輔 氏	
		循環器病予防のための生活習慣 病対策	県医師会理事 笹生 正人 氏	

ア 令和5年度事業実施報告について

(エ) その他

○ 県民意識調査（「県民ニーズ調査」を活用）

R 5年9月 調査開始

R 5年12月 結果集計【速報】

R 6年3月 結果公表【報告書】

・ 循環器病に関する認知度の設問

①脳卒中の主な初期症状について知っていることについて

②脳卒中は発症後すぐに医療機関で適切な治療を行えば、
後遺症を含め予後が改善される可能性が高まることについて

③心臓病の再発を防ぐため、治療後のリハビリテーションが重要であることについて

・ 結果

県ホームページ参照

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/231013.html>

ア 令和5年度事業実施報告について

(オ) 循環器病の救急医療

心血管疾患に関する基礎調査（kintoneを活用）

R5年7～8月	調査実施
R5年8月	結果集計
R5年9月	結果報告

【調査目的】

- 心血管疾患に係る現状の診断・治療体制や救急対応時の医療体制の課題抽出等、現状の循環器疾患救急に係る県内の医療提供体制の調査・分析を行う

→ 調査項目及び結果の詳細は**スライド24～26及び別紙1**のとおり

イ 令和6年度事業計画について

イ 令和6年度事業計画について

(ア) 神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業

【事業概要】

県民が安心して、日常生活圏で循環器病の医療や相談支援を受けることができるよう、相談支援体制の整備及び医療連携体制を強化し、地域の包括的な支援体制を構築する

【事業内容】

東海大学医学部付属病院（R5年度国モデル事業実施）に委託し、①～③を実施

①患者・家族等の相談支援窓口の設置（対面、電話、メール等）

東海大学医学的付属病院 患者支援センター総合相談室

開設日・時間 月～金 9:00～15:00

第1、3、5土曜日 9:00～12:00（祝日・休診日を除く）

②医療連携構築のための連絡会の開催

③地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修・勉強会等の開催

イ 令和6年度事業計画について

○ ポスター作成

**神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センター
周知ポスター 1,000部作成中**
効果的に周知するため、ナッジを活用

○ 県ホームページ作成

**7月神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センター
のページを新たに作成**

神奈川県
困ったらずは相談してみませんか?

脳と心臓のことでお困りのみなさまへ

相談無料

脳と心臓の相談窓口

神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センター

回復後はどうすればいいの?

家族のことが心配で...

血圧が高いといわれているけど大丈夫かな...

最近頭が痛くて...

ご相談は、面談または電話・メールでお受けしています。いずれも相談は無料です。
相談内容等、プライバシーは厳守されます。

神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センター

電話 東海大学医学部付属病院
☎ 0463-93-1121 (病院代表)
月～金曜日 9:00～15:00
第1・3・5 土曜日 9:00～12:00 (休診日・祝日除く)

メール
☒
https://forms.office.com/r/bPWxBjaMVy

◀ コチラから所定の項目にご入力ください

神奈川県では、脳卒中・心臓病等総合支援センター事業を東海大学医学部付属病院に委託しています。

神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課
〒231-8588 神奈川県横浜市中央区日本大通1 TEL: 045-210-4780
令和6年8月

イ 令和6年度事業計画について

(イ) 令和6年度心臓リハビリテーション推進事業

【事業概要】

地域医療や人材育成の中心的な役割を担う
「心臓リハビリテーション強化指定病院」の人件費等を補助する

交付対象者：市町村

対象経費：強化指定病院事業の実施に必要な経費（人件費及び運営費）

補助率：3/4 1市町村当たり1,200万（上限900万）

【対応】

川崎市で実施予定（令和7年度まで予定）

イ 令和6年度事業計画について

(ウ) 令和6年度心臓リハビリテーション推進事業

【事業概要】

心臓リハビリテーションの実施医療機関を増やすため、医療機関に対して機器整備費の経費を補助する

交付対象者：県内に所在する病院等の開設者

補助対象：施設基準上求められている運動負荷装置及び運動負荷装置試験装置
上記の導入に係る設置費、運搬費（保守及び補償に係る費用は対象外）
単なる機器の買い替えは対象外

補助率：1/2 1医療機関当たり450万（上限）

【対応】

4/23～6/3 令和7年度事業希望調査実施

7月 8医療機関を選定（新規2か所、増設6か所）

6～7月 注力すべき医療圏の医療機関にヒアリング実施（資料7）

イ 令和6年度事業計画について

(エ) 普及啓発

○ リーフレット作成等

- ・ 循環器病（脳血管疾患、心疾患）予防啓発リーフレット 20,000部作成中
- ・ 心臓リハビリテーション啓発リーフレット 20,000部作成中
- ・ 「かながわ治療と仕事の両立支援推進企業認定事業」チラシ配布

【対応】

包括協定に基づく県政情報の発信

- ・ R6年4月 第一生命保険

県内企業（1,000か所）に上記循環器病及び心臓リハビリテーション啓発リーフレット配布済

- ・ R7年2月 イオン24店舗に上記循環器及び心臓リハビリテーション啓発リーフレットを配布予定

イ 令和6年度事業計画について

○ ライトアップ

- ・ R6年8月10日（土）
健康ハートの日
県庁本庁舎をレッドにライトアップ（予定）
- ・ R6年10月29日（火）
世界脳卒中デー
県庁本庁舎をブルーにライトアップ（予定）

イ 令和6年度事業計画について

○ 産業保健と連携した講演会

健康起因事故を防ぐために！知っておきたい心疾患の基礎と予防セミナー

日時：R6年10月8日（木）14:00～16:00（予定）

場所：独立行政法人労働者健康安全機構神奈川産業保健総合支援センター
及びオンライン（ハイブリッド形式）

**演題：放っておくと怖い！生活習慣病
～健診結果のSOS、見逃していませんか？～**

講師：北里大学医学部循環器内科 医局長 亀田 良 氏

演題：【仮】ドライバーのための食生活のアドバイス

講師：東京労災病院治療就労両立支援センター 管理栄養士 平澤 芳恵 氏

**対象：運転業務を行う企業や事業者の就労者や労務・健康づくり担当者
運転業務従事者等**

共催：独立行政法人労働者健康安全機構神奈川産業保健総合支援センター

イ 令和6年度事業計画について

○ 循環器病対策セミナー

日時：R6年11月頃（予定）

場所：県民向けは対面、それ以外はオンライン

内容：未定

県民向け

医療従事者向け

在宅医療・介護従事者向け

イ 令和6年度事業計画について

(オ) その他

○ 県民意識調査（「県民ニーズ調査」を活用）

R6年9月 調査開始（予定）

R6年12月 結果集計【速報】（予定）

R7年2月 結果公表【報告書】（予定）

- ・循環器病に関する認知度の設問（令和5年度と同設問項目で実施予定）
 - ①脳卒中の主な初期症状について知っていることについて
 - ②脳卒中は発症後すぐに医療機関で適切な治療を行えば、後遺症を含め予後が改善される可能性が高まることについて
 - ③心臓病の再発を防ぐため、治療後のリハビリテーションが重要であることについて

イ 令和6年度事業計画について

(カ) 循環器病の救急医療

a 背景

疾患	これまでの対応
脳血管疾患	R1~R3 検討会・実態調査等実施
心血管疾患	未実施だったためR5調査実施

b 令和5年度の調査について

【調査目的】

- 心血管疾患に係る現状の診断・治療体制や救急対応時の医療体制の課題抽出等、現状の循環器疾患救急に係る県内の医療提供体制の調査・分析を行う

イ 令和6年度事業計画について

b 令和5年度の調査について

【調査項目】

- 各医療機関の医師等の体制
- 働き方改革による人員体制の維持
- 救急対応の体制
- 等

調査対象	回答率
95病院 「循環器系領域」の 手術を行っている病院	52.6% (50/95施設)

イ 令和6年度事業計画について

【調査結果からわかる傾向】

調査項目	回答	急性心筋梗塞	急性大動脈剥離	急性心不全
過去一か月の基本的な救急対応（施設体制）について	24時間100%受け入れられる	62% (31/50施設)	36.2% (17/47施設)	66% (33/50施設)
上記施設のうち				
働き方改革に伴い現在の体制は維持できると思うか	受け入れ体制の縮小が見込まれる	25.8% (8/31施設)	41.1% (7/17施設)	30.3% (10/33施設)

→ 調査項目及び結果の詳細は別紙 1のとおり

イ 令和6年度事業計画について

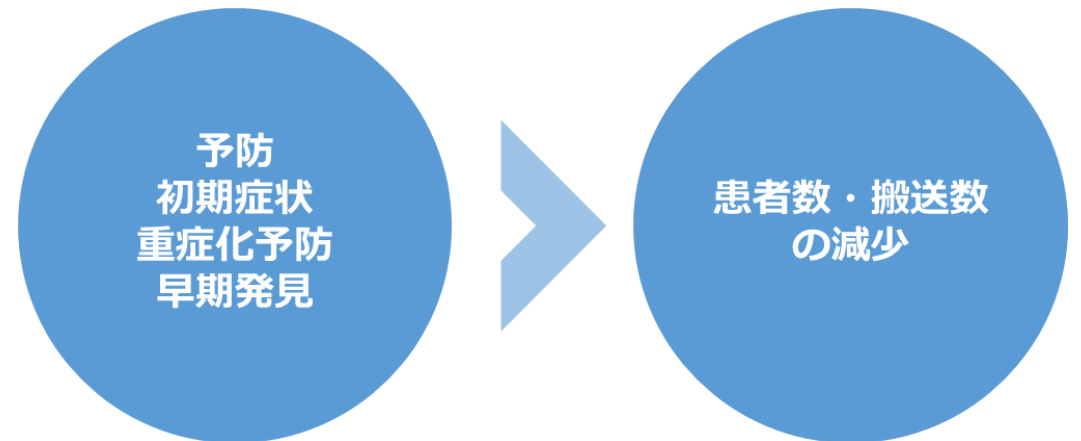
c 令和6年度の方針について

【循環器病の救急医療のひっ迫を回避するために】

- 循環器病の救急医療のひっ迫を回避するために、県民に対し、**循環器病の予防・初期症状や救急要請等に関する正しい知識の普及啓発を行い、早期発見や重症化予防を進めていく**

- ・ 循環器病対策セミナー
- ・ 普及啓発リーフレット
- ・ 重症化予防対策

等



イ 令和6年度事業計画について

c 令和6年度の方針について

心血管疾患に関する基礎調査

- 令和6年4月に「医師の働き方改革」が施行され、**各医療機関の実態把握が必要であるため、調査を実施する**

【調査項目】

- 令和5年度実施の調査項目をベースとして検討し、調査を実施する

【調査方法】

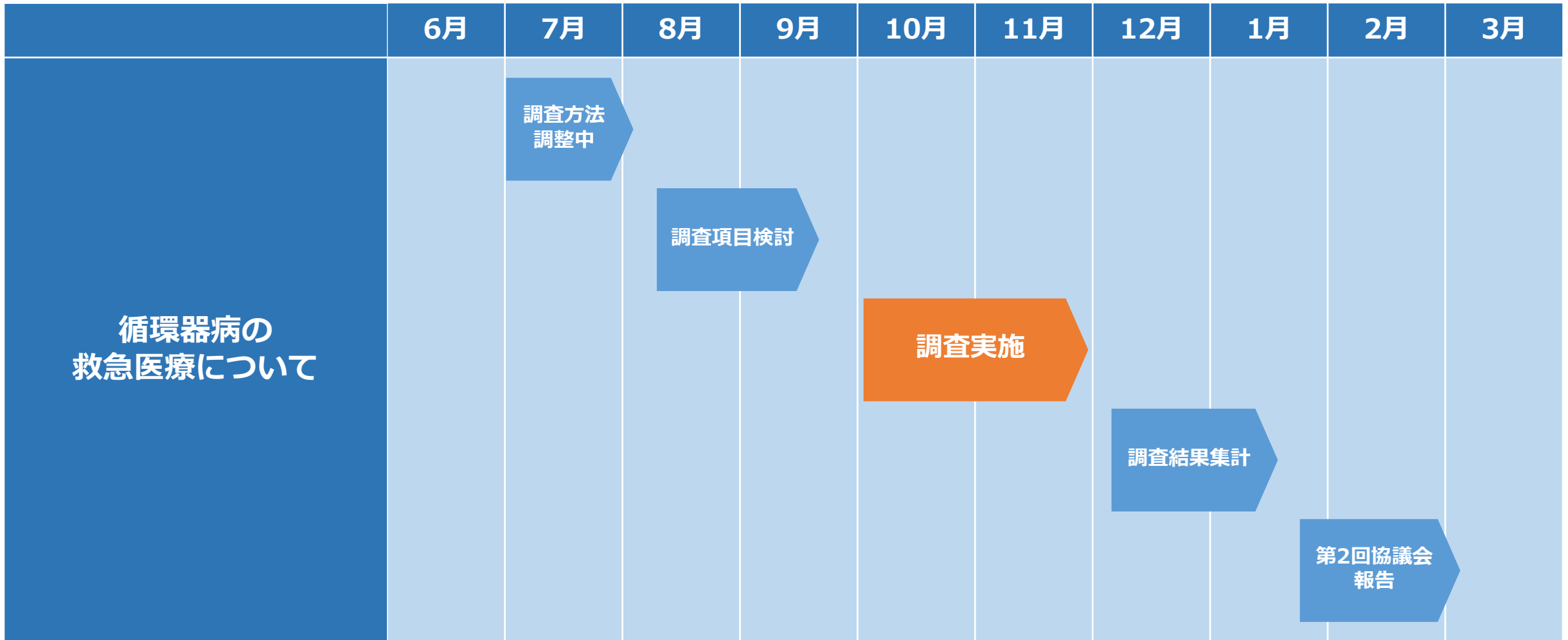
- 県システム（kintone）を利用したアンケート調査

【調査対象機関】

- 県内の「循環器系領域」の手術を行っている「病院」を対象とする

イ 令和6年度事業計画について

d スケジュール



イ 令和6年度事業計画について

(キ) 循環器病の重症化予防対策

- 健診受診歴及び通院歴から抽出したハイリスク者への重症化予防対策（予定）

高血圧対策は既に市町村（市町村国保等対象）で実施

令和7年度以降、県民の健康寿命の延伸、
循環器病の年齢調整死亡率の減少及びQOLの向上、医療費削減を目的に、
市町村へのより効果的な高血圧の重症化予防対策の支援の実施を検討中

県では市町村支援を中心とした糖尿病重症化予防対策を実施しており、
成果を上げている